

# グラフで見る関西経済(2021年5月)

2021年5月28日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

## 今月の景気判断 ~新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況にあるが、持ち直している

### 【今月のポイント】

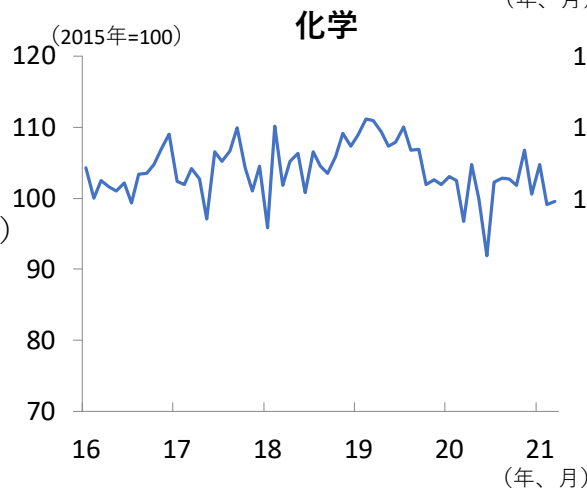
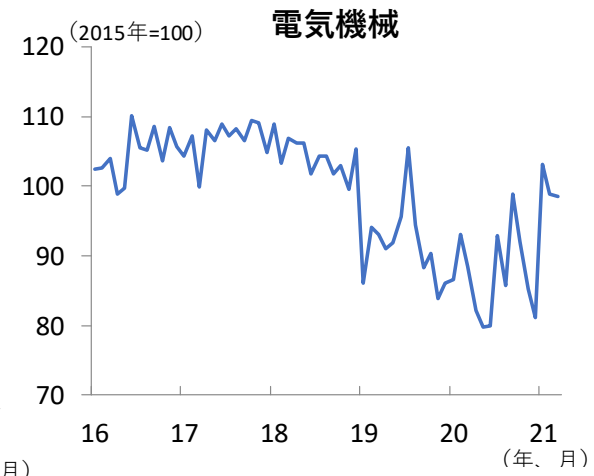
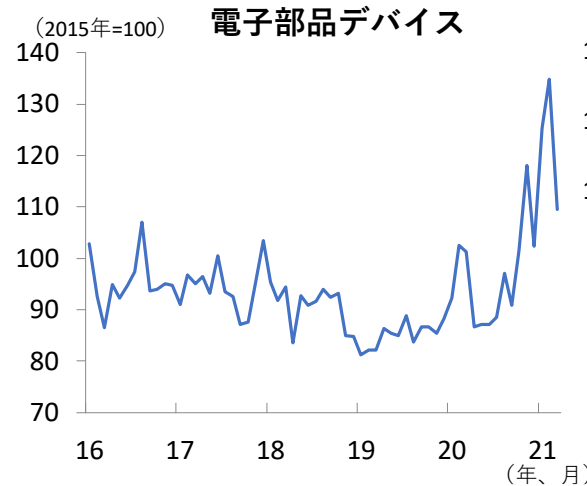
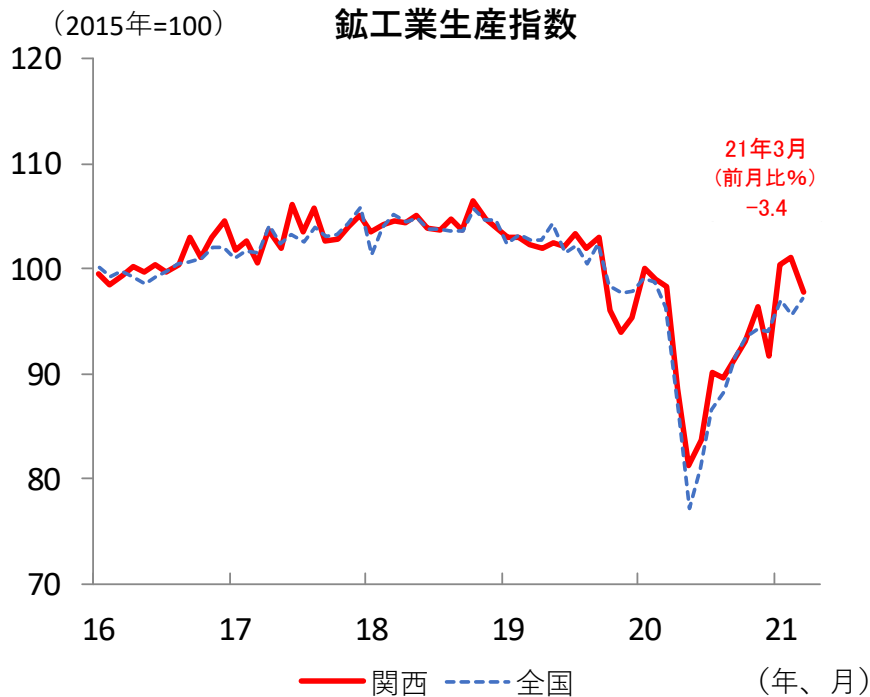
- 生産は持ち直し基調だが、3月は3ヶ月ぶりに減少した。電子部品デバイス、汎用・生産用・業務用機械など主要業種が減少した。
- 実質輸出(4月)は前月比+6.6%と2ヶ月連続で増加。過去と比べても高い水準となっている。
- 雇用は弱い動きが続く中、求人倍率は悪化に歯止めがかかっている。
- 3月の小売売上(6業態計)は、前年の落ち込みの反動で前年比ではプラスとなったが、基調は弱い。

項目	現状
景気全般	新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況にあるが、持ち直している
生産	持ち直している
輸出	増加している(↑:持ち直している)
設備投資	増勢が鈍化している
雇用	弱い動きとなっている
賃金	減少している
個人消費	弱い動きがみられる
住宅投資	横ばい
公共投資	横ばい圏で推移している

注: ( )内は前月からの変化の方向と前月判断

# 生産

3月の鉱工業生産(関西)は前月比-3.4%と3ヶ月ぶりに減少した。電子部品デバイス、汎用・生産用・業務用機械など主要業種が減少した。前年比では、前年の水準が低かったため+2.5%と2ヶ月連続で増加した。

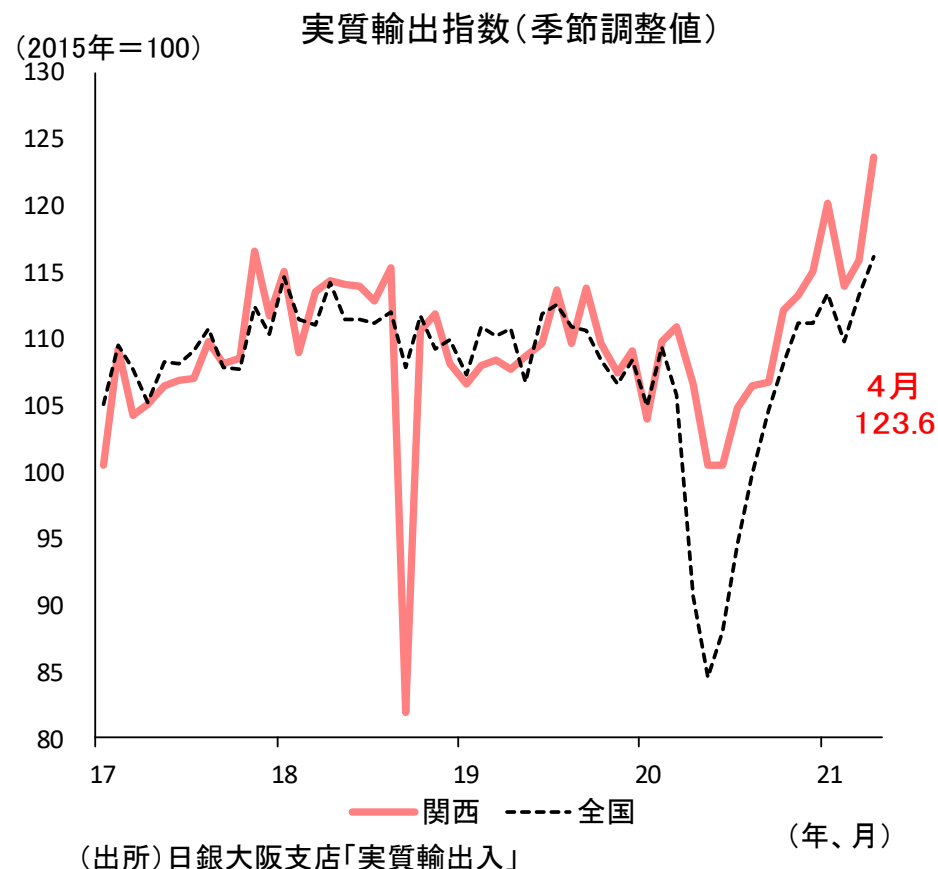
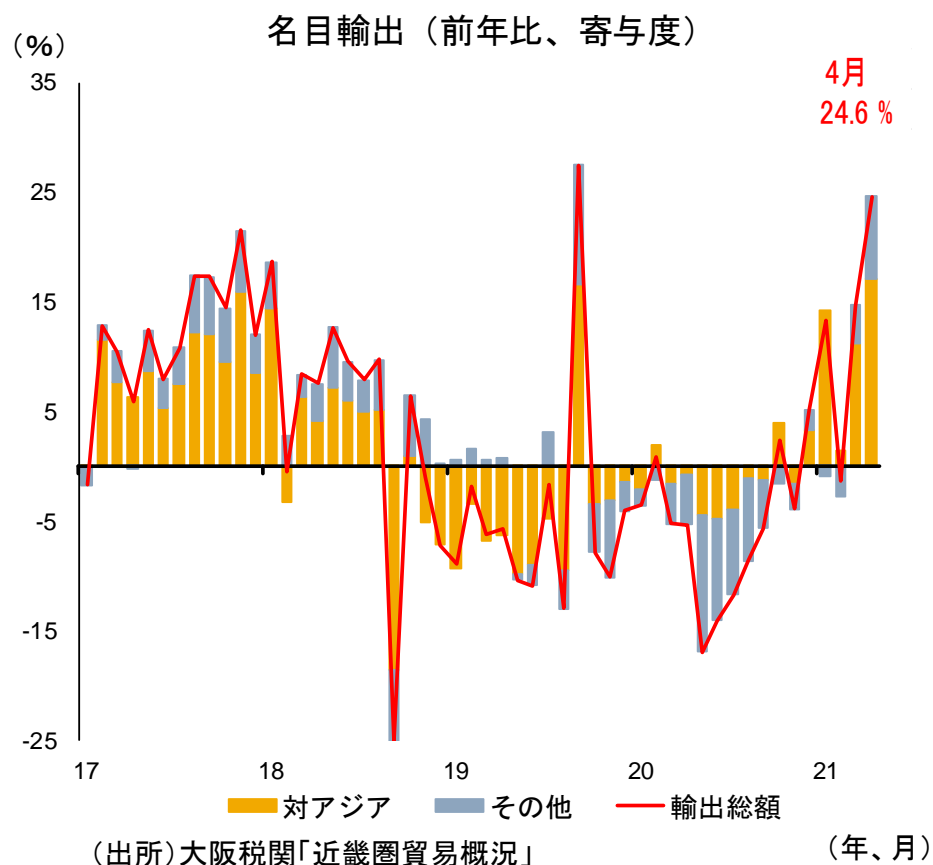


(出所) 経済産業省「鉱工業生産動向」

# 輸出

4月の名目輸出額は前年比+24.6%と2ヶ月連続で大幅に増加。地域別では、アジア向け輸出の寄与が大きい。品目別では、半導体電子部品、建設用・鉱山用機械などが大幅に増加した(いずれも4月としては過去最高)。

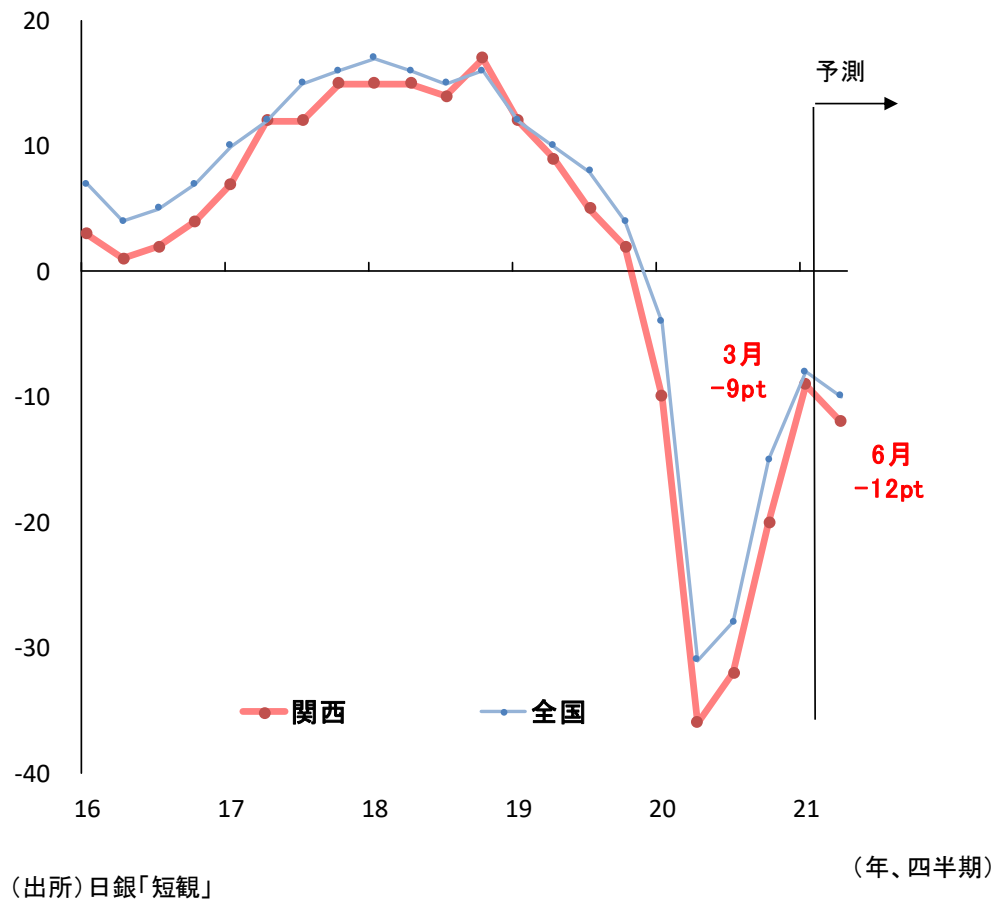
4月の実質輸出指数(季節調整値)は前月比+6.6%と2ヶ月連続で上昇した。過去と比べても高い水準となっている。



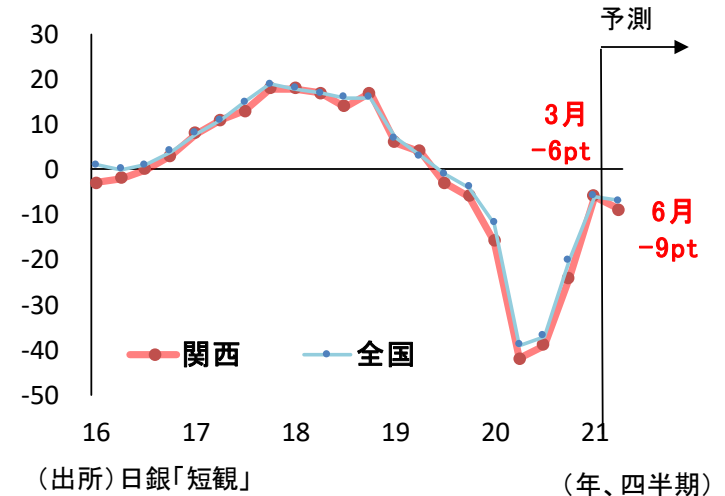
# 企業景況感(日銀短観) ※以下は4/1公表の3月調査。6月調査は7/1公表予定

日銀短観3月調査の業況判断DIは全産業で-9ptと12月調査から改善。製造業は-6pt、非製造業は-14pt。先行き(6月)については、全産業、製造業は悪化、非製造業は小幅改善が見込まれている。

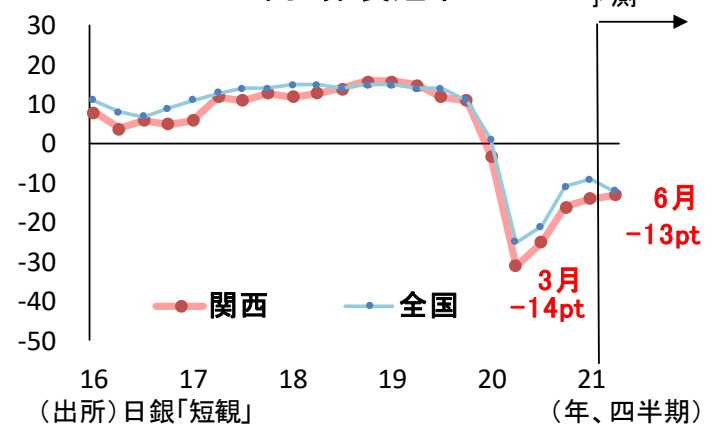
短観 業況判断DI「全産業」



同 製造業

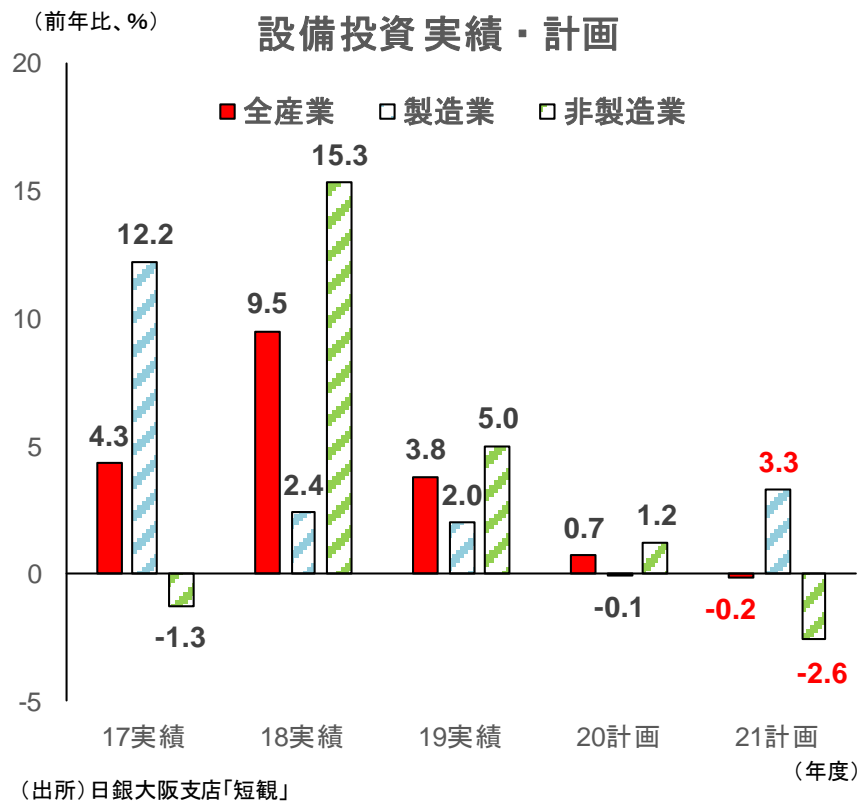


同 非製造業



# 設備投資 ※以下は4/1公表の3月調査。6月調査は7/1公表予定

日銀短観3月調査によると、20年度の設備投資(計画)は前年比+0.7%の増加が見込まれている。製造業は減少、非製造業は増加の見込みであるが、いずれも12月調査に比べ下方修正となった。21年度は、製造業で増加、非製造業で減少の計画。不動産、対事業所サービスが減少に転じる見込み。



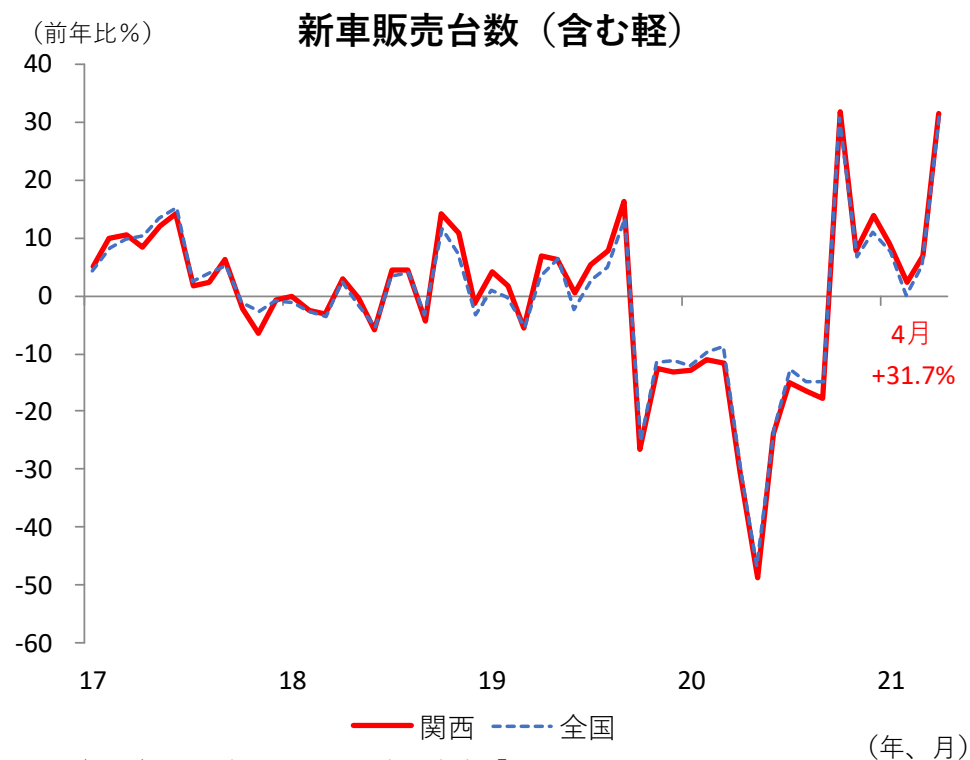
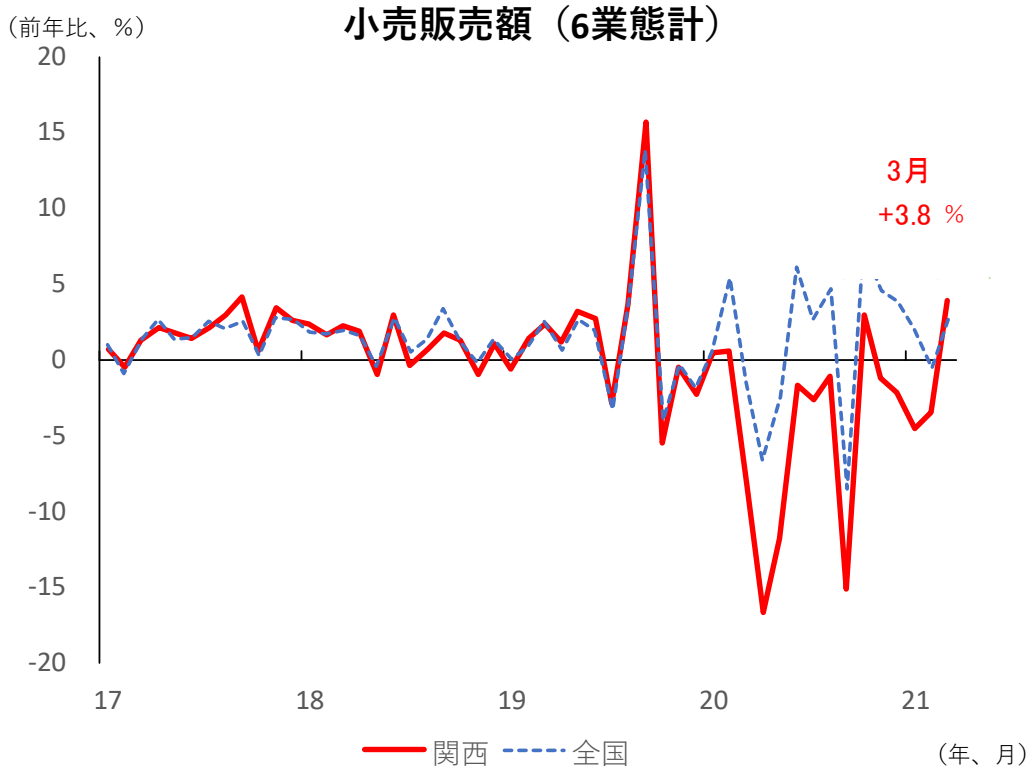
### 設備投資額(前年比%)

	19年度実績	20年度計画		21年度計画
		今回	12月調査時 [差異]	
全産業	3.8	0.7	2.7 -2.0	-0.2
製造業	2.0	-0.1	2.4 -2.5	3.3
非製造業	5.0	1.2	2.9 -1.7	-2.6

# 個人消費(小売売上、自動車販売)

3月の小売販売額は、前年の水準がコロナ禍で低水準であったこともあり前年比+3.8%と5ヶ月ぶりに増加したが、一昨年比では-4.9%と基調は弱い。

4月の新車販売は前年の水準が低かったこともあり前年比+31.7%と大幅に増加したが、一昨年比では-9.0%。



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

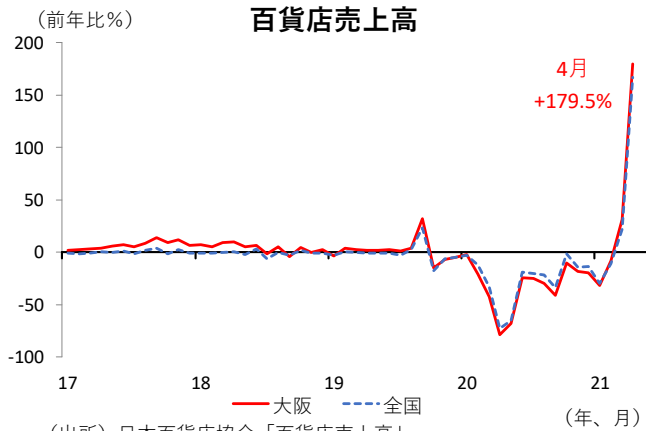
(注) 百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計

(出所) 日本自動車販売協会連合会「新車販売台数状況」

全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売」

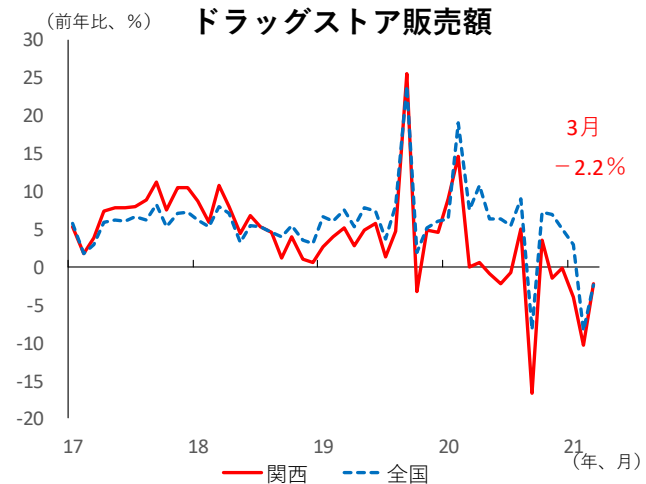
# 個人消費(業態別)

4月の百貨店売上(大阪)は前年比+179.5%の増加(京阪神免税売上は同+1413.8%)。前年同月がコロナ禍で低水準のため大幅増となったが、一昨年比では-39.0%減(免税店は同-83.0%)と低水準。3月のドラッグストアは前年比で5ヶ月連続で減少、一方、家電は6ヶ月連続で増加した。

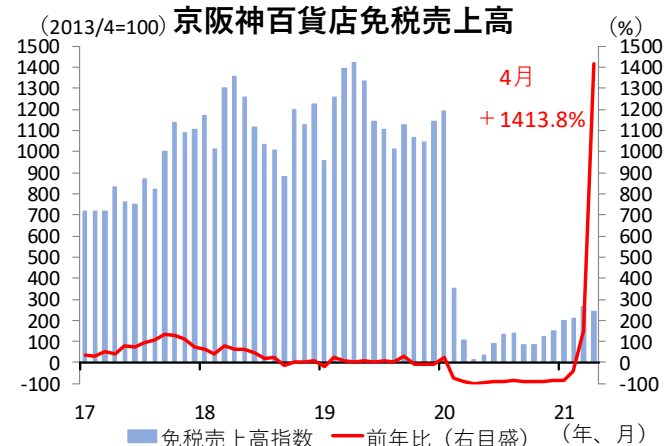


(出所) 日本百貨店協会「百貨店売上高」

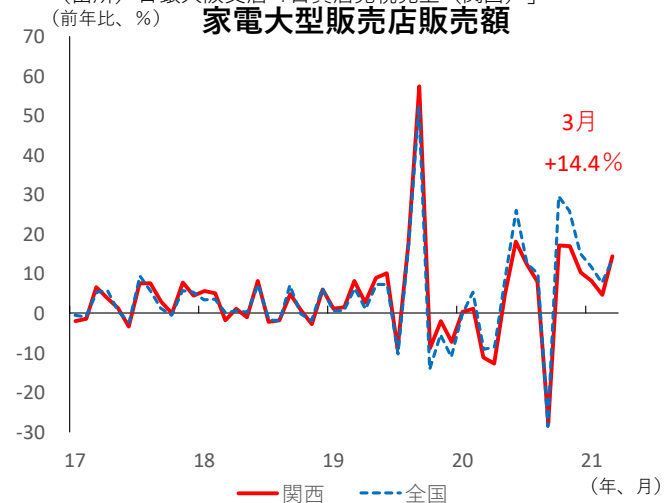
(注) 店舗調整後前年比



(出所) 経済産業省「商業動態統計」



(出所) 日銀大阪支店「百貨店免税売上(関西)」



(出所) 経済産業省「商業動態統計」



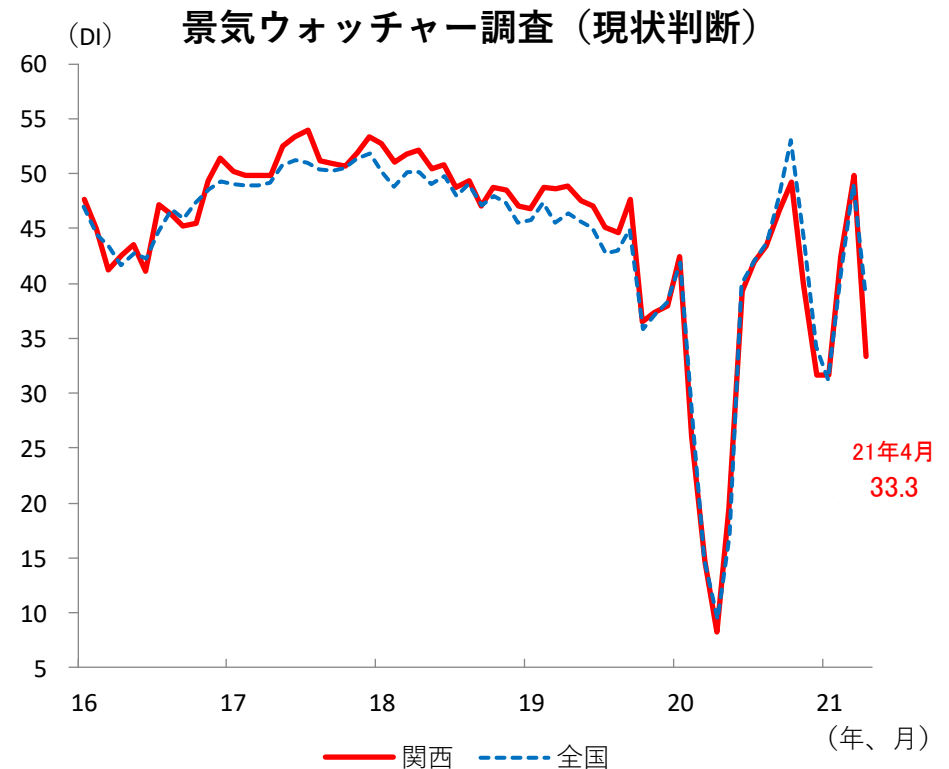
# マインド・景況感

4月の消費者態度指数(季節調整値)は34.6と3ヶ月ぶりに低下した。

4月の景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は、前月差-16.5ポイントの33.3と大幅に低下した。新型コロナウイルス感染症が再拡大し、緊急事態宣言が発出されたことが悪化につながった。



(注)関西の季節調整値はMURC試算  
(出所)内閣府「消費動向調査」



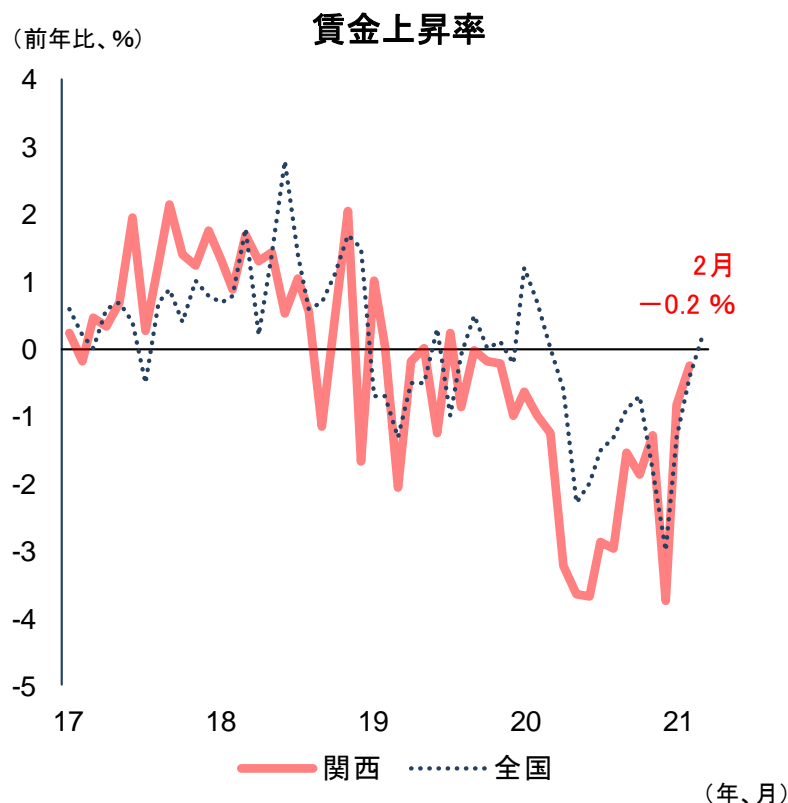
(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」

# 賃金・雇用

2月の名目賃金指数は、前年比-0.2%と19ヶ月連続で前年比で減少した。

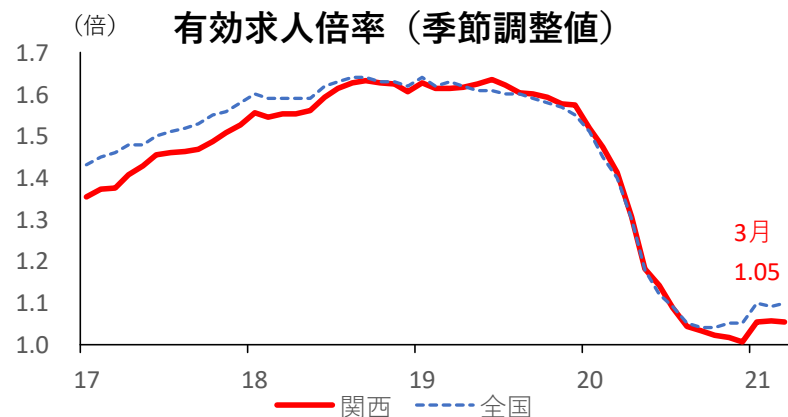
3月の有効求人倍率は1.05倍と前月(1.06)とほぼ同水準。求人数、求職者数ともに増加した。

21年第1四半期の失業率は3.2%と前期から横ばい。就業者数は増加した。

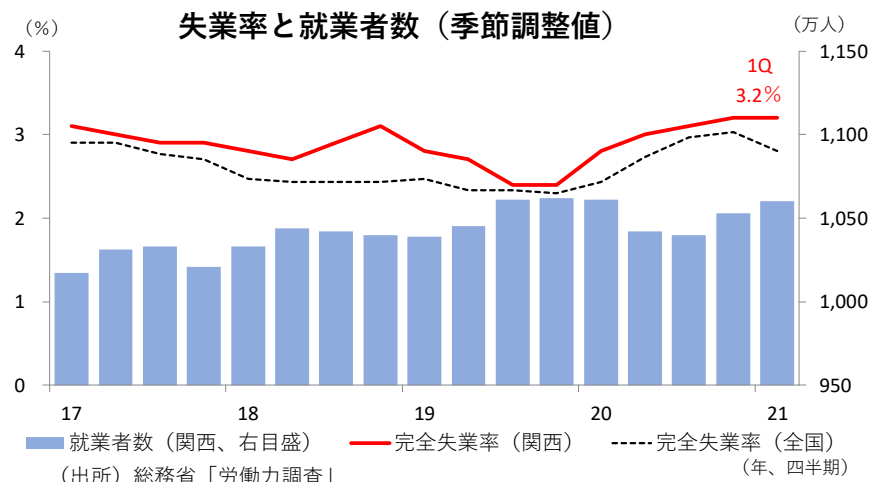


(注) 関西2府4県の名目賃金指数を常用労働者数で按分し合成したもの、MURC試算

(出所) 厚生労働省、各県「毎月勤労統計」



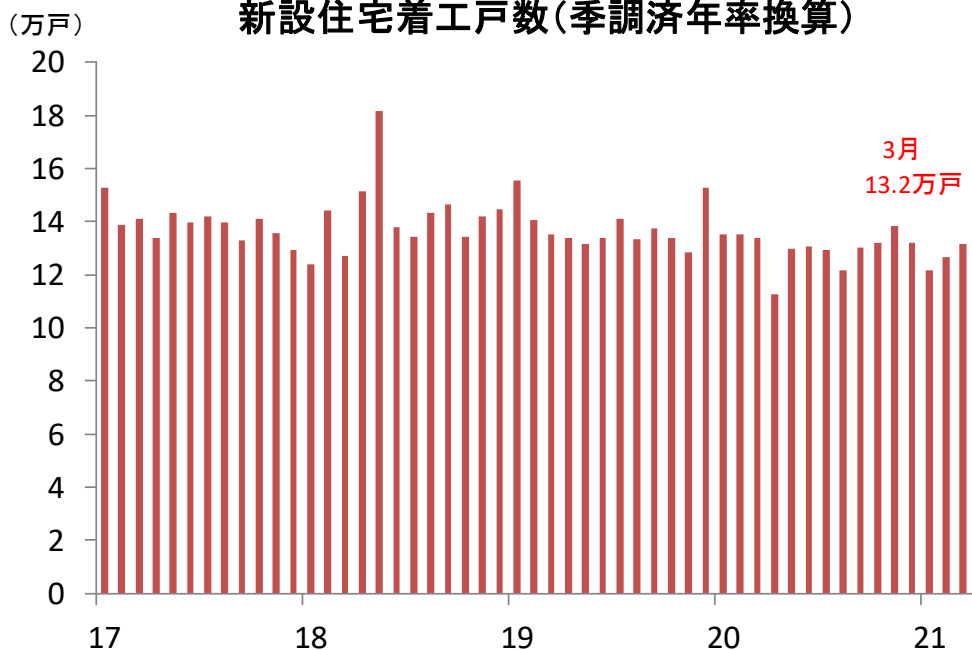
(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」



# 住宅投資

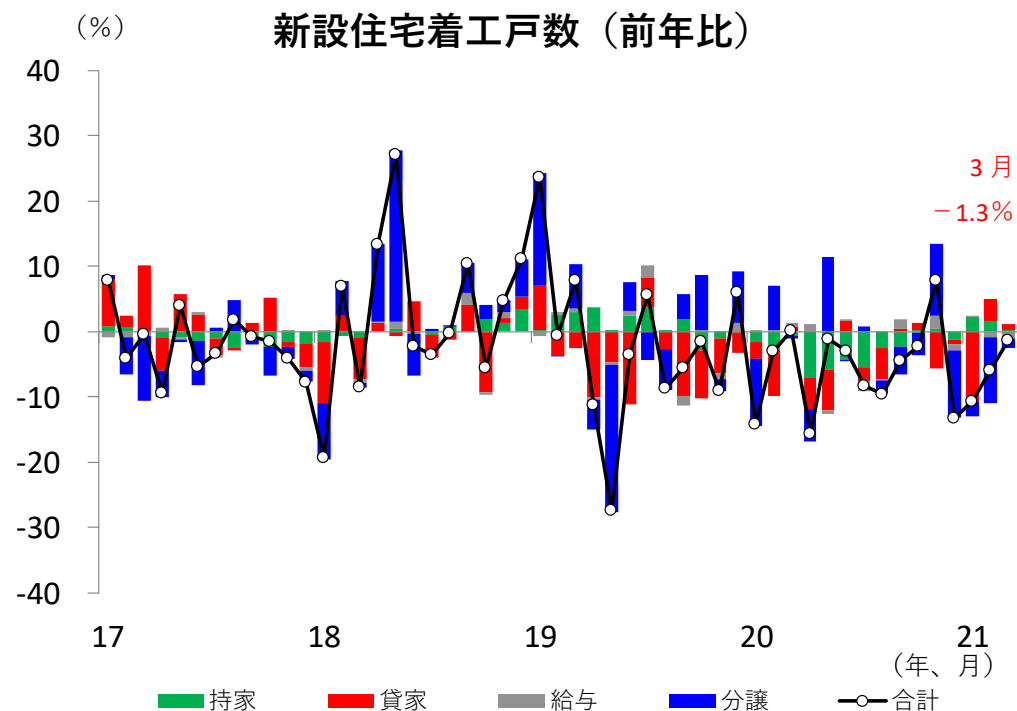
3月の住宅着工は季調・年率13.2万戸、前年比では-1.3%となった。持家、貸家は増加したが、分譲が減少した。

### 新設住宅着工戸数(季調済年率換算)



(注) 季調値はMURC試算値  
(出所) 国土交通省「建築着工統計」

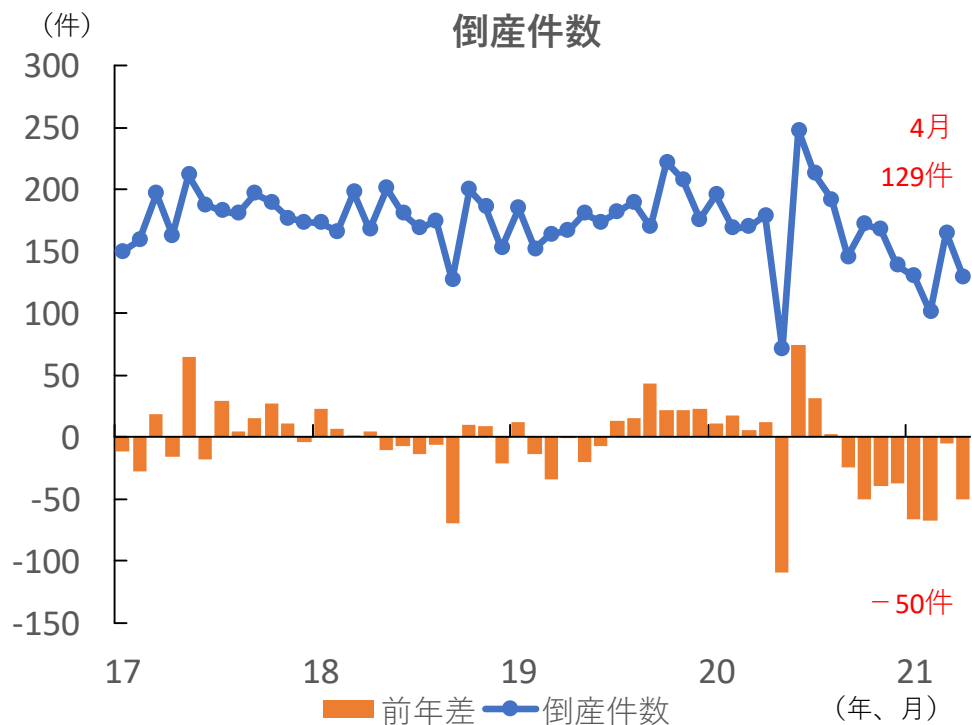
### 新設住宅着工戸数(前年比)



(出所) 国土交通省「建築着工統計」

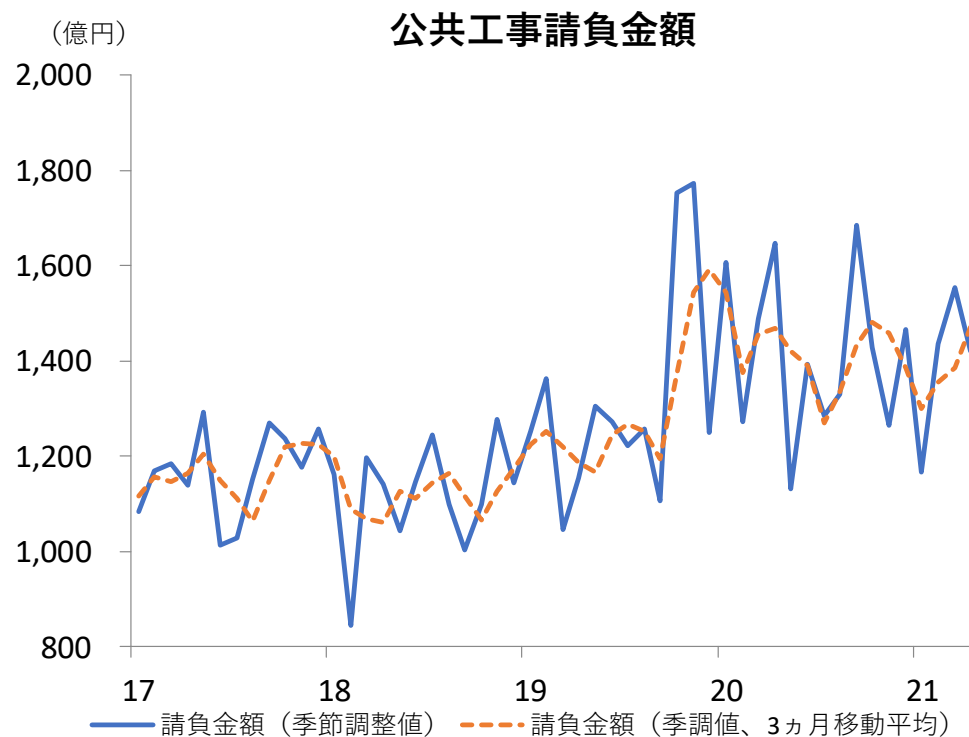
# 倒産

4月の倒産件数は前年差で8ヶ月連続で減少。件数は、低水準で推移している。



# 公共投資

公共投資は均してみると横ばい圏で推移している。



ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 塚田 TEL:03-6733-1626 E-mail:[chosa-report@murc.jp](mailto:chosa-report@murc.jp)

〒108-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください